



ロータリー：変化をもたらす
2017～2018年度 R.I.テーマ

2017.7～
2018.6

RI会長
イアン H.S. ライズリー
ガバナー
細井 保雄



日本の航空発祥の地「所沢」



R.I.第2570地区 第3グループ
所沢東ロータリークラブ

週報

2017年7月27日

第1311回 例会 PROGRAM

1. 点鐘(会長)
2. ロータリーソング斉唱
3. 来賓紹介(副会長)
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 委員会報告
8. 記念祝福
9. スマイルボックス
10. 卓話「新年度に向けて」
2570地区研修リーダー
坂本 元彦 様

本日の記念祝福

《結婚記念》武藤 正
《入会記念》飯田政義 石田啓子 深井雅俊 木曾晴夫
肥沼一彦 丸橋 宏 青木利幸 荒幡雅一 巽 正典
上田福三 齋藤正史

出席報告

月日	総数 41(免除者 16)	出席	MU	%
7/27	41			
7/20	41	32		84.21

例会日	当番	プログラム
7/27(木)	武藤	卓話「新年度に向けて」 2570地区研修リーダー 坂本元彦 様
8/3(木)	親睦	例会振替 所沢駅 17:15 集合 納涼会「52席の至福」旅するレストラン
8/10(木)	休会	
8/17(木)	本橋	「便利に使えるマイロータリー」 マイロータリー推進特別委員会 委員長 五十幡和彦 様

第1310回 例会 7月20日

【会長挨拶 飯田 政義】



皆様こんにちは。先週14日(金)第三グループの
会長幹事会が飯能ホテル・ヘリテージにて御座いま
した。7月16日は、米山記念奨学部門セミナーに
巽米山記念奨学委員長と一緒にに行ってきました。後
ほど報告があると思います。

本日は、ロータリーの標語のお話をさせていただきます。
ロータリー発祥後しばらくして、ロータリーの
目的や存在理由について疑問を持つ人が出始めた
ので、ロータリーの新しい理想を考え、それを明確
にするための委員会が設置されて、アーサー・フレ
デリック・シェルドンが委員長に任命されました。
彼は、悪徳と信用不安が横行し、消費者は自分で自
分を守るしかなかった当時であっても、公明正大に
経営している商店や会社が大成功している事実を
知って、その理由を探求し、「常に他人の立場を考
えて、他人のためになるように尽くすサービス(奉
仕)を実践しているものが成功を収める」ことを発
見していたのです。そのことをクラブの会員に伝
えることで、「職業は社会に奉仕する手段である」と
他のロータリアンを納得させることができたので

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるか どうか



ROTARY CLUB
OF
TOKOROZAWA EAST

●例会日：毎週木曜日(12:30～13:30)
●例会場：ベルヴィザ・グラン
●住所：所沢市星の宮1-3-5
TEL 04(2923)4122

●事務局：所沢市星の宮1-4-17
TEL 04(2928)6363
FAX 04(2928)6369
●E-mail：info@te-rc.com
●HP：http://www.te-rc.com

会 長 飯田 政義
幹 事 秋場孝三郎
会報編集委員 新倉 良之

す。この考え方は、次第に他の都市に結成されたロータリークラブにも広がっていきました。

1910年に最初の全米ロータリー大会がシカゴで開かれ、全米ロータリークラブ連合会が結成されたとき、大会委員長は出席者に「私たちは、世界において進んで自己の任務を果たし、公德心を高めたいと願い、職業において高度の道徳的水準を守りたいと思っています」と語りかけたということです。そして、この大会の閉会時に、シェルドンは、職業倫理の重要性を強調し、腐敗や不正は排除しなければならないことを明らかにし「19世紀の商慣習の特徴は競争です。出し抜かれる前に出し抜け、ということです。20世紀に入り、人類は賢くなりました。20世紀の特徴は協調です。『人間は、英知の光に照らして、正しい行為は報われる。職業は人類の奉仕の科学である。[最もよく仲間に奉仕する者、最も多く報いられる (He profits most who serves his fellows best)]』ということが分かるようになりました」と語りました。この言葉は、1911年オレゴン州ポートランドの全米大会で報告され、後に「He profits most who serves best」として、奉仕の対象を全ての人々とする表現に変え、ロータリーの標語の一つとなりました。

来週の例会卓話は、地区研修リーダー、坂本パストガバナーです。楽しみにしています。

幹事報告

秋場 孝三郎

○7/14 第2570地区会長幹事会が開催されました。ガバナー補佐訪問について7/27理事会のあとにスケジュール等お知らせします。ガバナー公式訪問は5クラブ合同です。8/105クラブ会長幹事会で取り決め後にご報告申し上げます。

○R L I (ロータリーリーダーシップ研究会) 参加の連絡が来ております。

○第3グループIM (ホストクラブは飯能RC) は2018年2月18日に決定しました。卓話者は経済評論家である森永卓郎氏です。

○細井ガバナーより九州北部豪雨被災者に対する義援金のお願いが届いております。理事会にて取り決め後にご報告します。

○国際交流委員会より「日豪青年相互団員候補者」募集案内がきております。参加希望は事務局まで連絡をお願いします。

■米山奨学会委員会報告 委員長 巽 正典

7月16(日) 東松山・紫雲閣にて行われ、飯田会長と私の2名で出席致しました。

会議では、細井ガバナーの挨拶にはじまり、島崎委員長より映像を交えての報告がありました。

米山記念奨学生は毎年700名程が誕生するそうです。この資金は、学力が良いとか資産家の子孫である等は関係なく、将来日本との友好において力にな

ると思われる人を選ぶとの事でした。今回2570地区では、16名の人を指名したとの事でした。会場にはその奨学生14名が参加しており、それぞれの思いを話されましたが、上手に日本語を話されるのには驚かされました。特に日本人の特徴を良く理解していて、いつも感謝していて必ずこの恩をお返しをするとの事でした。

日本の将来の為にこの人達がいつの日か役に立ってくれるのであるのであれば応援しないとならないと感じました。是非皆様にご理解をいただきましてご協力をお願い申し上げます。

■会報・広報委員会報告 委員長 新倉 良之

○国際ロータリー第2570地区公共イメージフォーラムの報告 出席：飯田会長、新倉

開催日：2017年7月9日(日)

冒頭、ロータリークラブの認知度についてのお話がありました。10人いたら、4人が知らない。4人が名前だけは知っている。2人が少しは知っているという割合だそうです。

今回、初の試みでプレス(テレビ埼玉・埼玉新聞等)の皆様の参加がありました。

セレモニーの後、第2570地区51クラブ中33クラブの予定事業の発表がありました。所沢東代表として、飯田会長が市民文化フェア・所沢まつりでの綿菓子販売の売上金を市内社会福祉法人へ寄付する奉仕活動について発表いたしました。

最後に、プレスの方からのお話があり、どんなに良い活動をされていても情報をいただかないと番組・記事に取り上げるかどうかには至りません。まずは情報を下さいということでした。

会報・広報委員会として、情報発信してまいります。皆様のご協力よろしく願いいたします。

最終例会：王梓さん(2015-2016年度米山奨学生)

皆さん、こんばんは。久々に近況報告をさせていただきますと思います。



二週間前に初めて富士山の頂上に登りました。友達に断られ、一人で行くちょっと悲しい登山旅行になって、しかも当日は渋滞に会い、五合目に到着したのはすでに14時近くになってしまいました。始まりは順調ではありませんでしたが、標高が高くなるとともに、景色も雄大になり、普段の日常では味わうことのできない絶景が広まりました。やっと頂上に登った時の達成感やほっとした感じはこれからの人生にも残ると思います。

下山するときはすでに19時過ぎで、あっという間に山が暗闇に覆われました。まだ雪や氷が残っていて、地面も非常に滑りやすかったので、かなりドキドキしながら下山しました。途中で何回もあきらめてこのまま泊まろうと思いましたが、歯を食いしばって最後まで頑張ってお山しました。



この下山の旅で、雲をも凌ぐ高さからの星空の展望も素晴らしかったのですが、もっと心に残ったのは最後まで頑張るといふ強い意志の大事さでした。学校で実験やる時も徹夜することが多く、何回も寝てしまって実験を放置してしまったことがありますが、これからはこのあきらめない強い意志を貫いて、最後まで頑張った達成感を味わいたいと思います。今年の前半で、新しい成果をいくつかの学会で発表しましたが、まだまだ足りない感じがして、今度お会いするときはもっとインパクトのある業績を皆さんに伝えたいと思います。また、この前の米山奨学生学友総会で中島会長にお会いしました。その時、11月にアメリカへ留学に行つて、家の荷物をどこに置くか困っているという話をしたら、中島さんは自分の倉庫の空きスペースを提供してくださるとおっしゃいました。そこまでして助けてくださるとはとても感動しました。奨学生時代からずっとお世話になっていて、いつも困っている時に助けていただいて本当にありがとうございます。

皆さんからいただいた優しい気持ちを無駄にせず、奉仕の精神を受け継ぎ、皆さんの仲間に入れるほどの人間になるように頑張りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

会員卓話「新年度に期待する」

■ 杉山 俊一 ■

今年度は10年振りに40名超えの会員でスタートが出来て、クラブに活力を感じ喜んでいるところです。この間、増強にご尽力頂きました皆様に深く感謝申し上げます。



さて、「飯田年度に期待する」という事ですが、次年度は30周年を迎えます。そのためにも誰からも良いクラブだと言われるクラブにするべく飯田年度は特にご努力をお願いしたいと考えています。

今日は、幾つかのお願いをして「飯田年度への期待」としたいと思います。大変失礼な話をさせて頂かねばならない事もありますが、良いクラブにするための事ですのでご容赦頂きます様よろしくお願いをいたします。

先ず飯田年度は「ロータリーを楽しもう」をテーマとしていますが「ロータリーを楽しむ」とはどうすればよいのでしょうか。

私は、ロータリーは出席しなければ楽しめないものと思います。「出席を奨励し、例会を活性化する」事が地区の目標にもなっています。飯田会長の「ロータリーを楽しもう」とベクトルが合致しているものと思います。

ベルヴィザ・グランでの例会は最も多く、この例会が楽しくなくてはロータリーを楽しめないのではないかと思います。例会は和やかな中にも品格が必要だと考えています。

そこで、最近の例会について考えてみたいと思います。

1、副幹事が司会をしていますが、例会の順番を間違えて、笑っていて良いのでしょうか？

例会への出席は義務となっており、楽しむ例会がドタバタで良い訳はありません。緊張感をもって進行を出来る様、準備して頂きたいと思つています。但し、間違いは誰にもあります。準備しての間違えと準備不足の間違えも誰にもわかると思つています。

2、委員会の報告担当者が当日休んで良いのでしょうか？

誰しも会社を留守にする時、休む時、社員にその間の対応についてお願いをすると思つていますが、例会に担当者が休んで、報告が出来ないのでは40名からの人に迷惑がかかります。委員会の何れかの方にお願ひするのは当然です。対応を宜しくお願ひしたいと思つています。

3、例会の時間が余り過ぎて良いのでしょうか？

例会進行ですが、卓話の時間を30分でお願ひをしているのに40~45分位の時間が多くありましたが、卓話者に大変失礼なことだと思つています。セレモニーの時間調整、内容等十分考慮をお願いします。

4、会長のあいさつについて

飯田会長は1週目に点鐘の話、2週目はロータリー戦略計画について、本日はロータリーの標語につ

いて話されました。こういう話をお聞きして何か得をしたように思えるのは私だけでしょうか。そんな想いになれる事が楽しさに繋がるように思います。そして出席率にも影響するのだと思います。飯田会長、大変な事ですが頑張ってください。よろしくお願ひします。

「例会の時間調整のための提案」

1、会長あいさつ・・・「短すぎず、長すぎず」
2、委員会報告・・・各委員会を開催しないと報告もない事になります。活動をするには委員長だけで決めたら委員会ではなくなります。委員会を開催すると初めてその委員会に所属した会員も何をするのようすべきか理解できます。だから委員会は次のリーダーを育てる研修会にもなるのです。是非とも活発に委員会を開催してください。そして会長は委員会を開催するよう常にアドバイスをよろしくお願ひいたします。

3、5大奉仕委員長、小委員長は各委員会の事で常に5分間スピーチを準備しておく、例会の流れで必要な時は常に誰かが穴埋めが出来る事が必要です。

最後に、クラブの運営は定款、細則で決められていますが、東クラブの30年近くの慣習と文化があり「変えて良いもの、変えてはいけないもの、変えなければならないもの、」を明確にして運営をお願ひします。

「言うのは易し、行うは難し」は承知の上で、言いたい放題申し上げすみませんが何かお役に立てば幸いです。

立派な30周年を迎えられるよう今年度全員で頑張りましょう。ありがとうございました。

■ 本橋 孝義 ■



所沢ロータリークラブを親クラブとして市内で4クラブ目のRCクラブとして平成2年2月9日に51名をもって創立総会をしてから27年の時が過ぎました。今日までの最高会員人数は平成5年の高橋第五代会長時代の63名で、平成11年のからの年度より50の大台を割り込み、平成18年よりの年度で40名を割り、平成28年度の年度で40名を超える状況なってきましたが、やはり会員数の増加は資金の増加に繋がり、クラブの運営を活発にでき積極的ロータリーの目的達成の於いては重要であります。会員増強については、クラブ全員で新規会員獲得に取り組む事が大事であろうと思います。

当東クラブは、所沢RCを親クラブとし親クラブより移籍された方々と、新たに勧誘された51名で発足し、移籍された方々の中にはロータリーに関して大変厳しいお考えをお持ちの方もおられ、私も第八代会長を務めた折にも、ロータリー規約・手続要覧を何回も読んでロータリーを理解すると、何事にも無理難題を言われ、意見の対立も在った時もありましたが、諸先輩に色々ご助言・ご指導を頂いたと思っております。

クラブ運営にトラブル等の解決には会員・役員の意見交換・確認等を行いスムーズな解決を計る事が大事ではないでしょうか。

また席次について、現在は個々に空いている席に着いていますが、昔は委員会ごとに着席していました。委員会の活動確認する上では良いのでは？

例会時間については、セレモニー30分が早めに終了した場合、会員の三分間スピーチで対応したら如何でしょうか。

ニコニコボックス 第1310回例会 7月20日

飯田 政義 梅雨明けしたのでニコニコします。

秋場 孝三郎 暑いですね。皆さん、体調に気づかった生活を送りましょう。

荒幡 雅一 急なお休みで申し訳ありません。

木曾 晴夫 先日の雷雨で道路を掘って池のようになってしまい、大変な思いをしました。異常気象はいやですね、穏やかな地球に早く戻るようにニコニコします。

中島 洋志 本日1時より所沢市社会福祉協議会より当クラブへの感謝状を戴きに行つて参ります。

丸橋 宏 8月にピアホールを開催致します。是非とも皆さまのご参加をお待ちしております。

本日合計 7,000円 累計額 53,000円



中島年度
会長・幹事 ご苦労様会
7月22日(土)

